

「第二期石狩市こどもビジョンの策定について」に 寄せられた意見と検討結果について

【パブリックコメント実施期間】 令和6年12月26日（木）から令和7年1月25日（土）まで

【担当部局】 子育て推進部子ども政策課

【意見提出者】 1人

【意見件数】 3件

【意見への対応】	採用：	意見に基づき原案を修正するもの	0件
	不採用：	意見を反映しないもの	0件
	記載済：	既に原案に盛り込まれているもの	2件
	参考：	原案に盛り込めないが今後参考とするもの	0件
	その他：	ご質問・ご意見として伺うもの	1件

【意見の検討経過】 令和7年1月27日～2月18日 当課において意見の検討及び検討結果（案）の作成
2月21日 関係部局に合議のうえ、市長決裁にて最終決定

「第二期石狩市こどもビジョンの策定について」に関するパブリックコメントへの検討結果

番号	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	子どもビジョンの基本目標Ⅴに「すべての子供・若者が将来に希望を持ち」とあるが、今の子供は将来に夢を持っている人は少ないとの報告がある。夢が持てない子供達への対応が望まれます。	記載済	ご意見ありがとうございます。本市の状況としては令和5年度石狩市子ども・子育て家庭・若者の生活実態調査等調査において、「将来やりたいことがある」若者の割合として、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた若者が64%となっています。 こどもビジョンでは、こどもが自分らしくすこやかに成長していくために、こどもらしく安心して暮らせる環境の整備を進めていくこととしています。自分らしくすこやかに成長できることによって、将来に希望を持つことができるようになると考えております。
2	10年後には児童・生徒数は3割以上減少すると予想される。子供の増加の対策が必要ではないか。	その他	ご意見ありがとうございます。このビジョンの計画期間である令和11年度（2029）までに、18歳未満人口は3.6%減少する見込みです。国においてはこども子育て政策の「加速化プラン」として、児童手当の抜本的拡充や妊産婦等包括相談支援事業、出生後休業支援給付が創設されました。こどもビジョンにおいても、妊娠・出産期から子育て期、子育て期におけるさまざまな支援を盛り込んでいます。市の人口減少に対する取組を盛り込んだ総合戦略とも連携し、石狩市が子育てしやすいまちになるように、こどもビジョンに基づく施策を展開することが、こども人口減少の対策となると考えております。
3	石狩市の教育大綱、こどもの権利条例、教育プラン、こどもビジョンの関係を表すことで、明確な理解と共同での推進が可能となると考えられます。	記載済	ご意見ありがとうございます。教育大綱、こどもの権利条例、教育プラン、こどもビジョンの関係については「第1章 3. 計画の位置づけ」に示しております。 教育大綱・教育プラン・こどもビジョンについては互いに連携しながら考えや施策を反映することとしており、市として一体的な推進が可能になるものと考えております。